

西脇市スポーツ推進計画（案）



令和3年3月
西脇市

西脇市スポーツ推進計画の策定に当たって

令和3年3月
西脇市教育長 笹倉邦好

目次

第1章 計画の概要

1	計画策定の背景と目的	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の期間	3

第2章 スポーツをめぐる現状等

1	少子高齢化と人口減少社会	4
2	西脇市体育協会等スポーツ団体の現状	5
3	スポーツへの期待	6
4	スポーツ・健康まちづくり施策	6
5	スポーツに関する調査	7
6	西脇市生涯スポーツ振興基本計画における主な成果	11
7	スポーツ活動の現状と課題	13

第3章 基本理念と基本目標

1	基本理念	14
2	基本目標及び重点目標	15
3	西脇市スポーツ推進計画体系図	16

第4章 西脇市のスポーツ推進施策

1	生涯スポーツの振興	17
	重点目標 第1-1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	17
	重点目標 第1-2 スポーツ活動への積極的な参加の推進	21
	重点目標 第1-3 子どものスポーツ活動の推進	24
	重点目標 第1-4 オリンピックレガシーの創出と継承	26
2	競技スポーツの振興	27
	重点目標 第2-1 各種スポーツ大会の開催支援	27
	重点目標 第2-2 トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進	29
3	スポーツの環境整備	31
	重点目標 第3-1 スポーツ施設の整備・充実・有効活用	31
	重点目標 第3-2 スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進	34
	重点目標 第3-3 スポーツ情報の発信等の推進	35
	重点目標 第3-4 スポーツ活動推進組織の構築	36

第5章 計画の推進体制と進捗管理

1	計画の推進体制と進捗管理	38
---	--------------	----

巻末

用語解説（50音順）、参考資料	39
-----------------	----

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

平成23（2011）年に新たにスポーツ基本法^{※1}が制定され、スポーツは国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものと定義した上で、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であると明文化されました。そして平成24（2012）年3月には、同法第9条の規定に基づきスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、スポーツ基本計画^{※2}が策定されました。

また、スポーツ基本法の理念の実現に向け、平成27（2015）年10月に文部科学省の外局としてスポーツ庁^{※3}を創設するとともに、スポーツ基本計画に基づく諸施策の達成状況や、社会情勢の変化を踏まえた課題を検証・評価した上で、平成29（2017）年4月に第2期スポーツ基本計画を策定しました。その中で計画が目指す方向性を簡潔に示すため、次の4つの観点からスポーツの価値を説明しています。

- ① スポーツで「人生」が変わる
- ② スポーツで「社会」を変える
- ③ スポーツで「世界」とつながる
- ④ スポーツで「未来」を創る

その上で、スポーツ参画人口を拡大し、他分野との連携・協力によって「一億総スポーツ社会」の実現^{※4}に取り組む基本方針を示しています。「する」「みる」「ささえる」^{※5}といった様々な形態を通じた積極的なスポーツへの参画は、スポーツを楽しむ、喜びを得るといったスポーツの価値の享受が期待できます。スポーツを日常生活に位置付け、国民一人ひとりが生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、年代や関心、適性等に応じてスポーツに親しむ機会の充実を目指し、各施策が展開されています。

一方、本市においては、第2次西脇市総合計画^{※6}において、多くの市民がそれぞれのライフステージ^{※7}やライフスタイル^{※8}に応じてスポーツを楽しみ、相互の交流が進む中で、健やかな心身が養われることを目的に次の3つを定めています。

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② スポーツを支える環境の整備
- ③ 特色あるスポーツの振興と交流の推進

また、本市は東京2020オリンピック・パラリンピック^{※9}のホストタウン^{※10}としてオリンピックレガシー^{※11}を後世に伝承するために、大会終了後もスポーツ・文化・教育等において相手国との交流を継続的に行うこととしています。

このような国や本市のスポーツ施策の取組を踏まえつつ、今後の本市のスポーツ施策を計画的に推進するため、西脇市スポーツ推進計画を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国のスポーツ基本計画を参酌して、策定する地方スポーツ推進計画^{※12}であり、本市の実情に即したスポーツの推進を図ろうとするものです。

また、西脇市生涯スポーツ振興基本計画^{※13}の成果や課題を踏まえつつ、西脇市総合計画や西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」^{※14}等の上位計画や兵庫県スポーツ推進計画^{※15}との整合性を図るとともに、関係機関と連携の下で、中長期的視点から本市における生涯スポーツ社会の構築を図るものです。

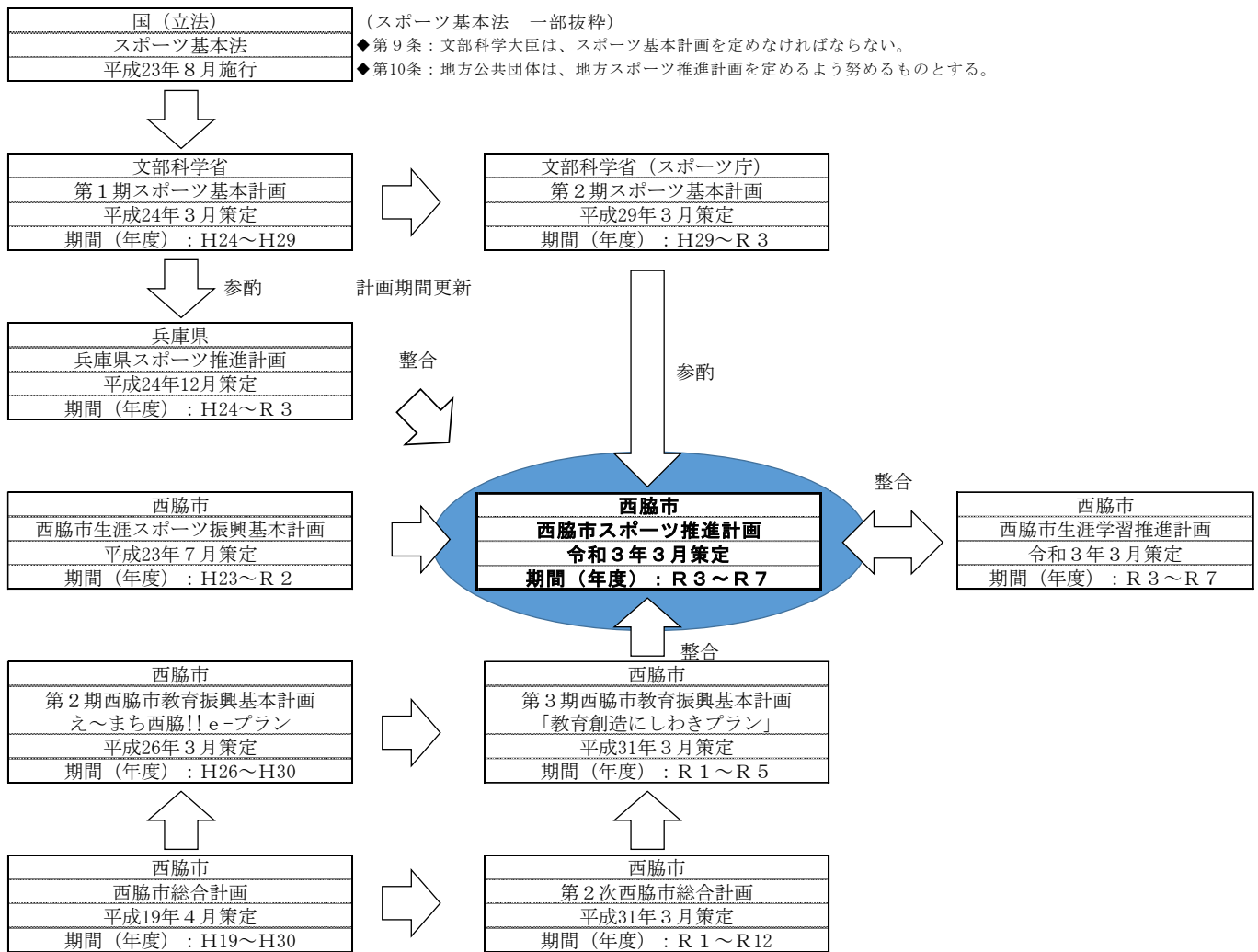


図 西脇市スポーツ推進計画と関連計画等

3 計画の期間

本計画の期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とします。

なお、本市におけるスポーツへのニーズ、国や社会の動向、本計画に示した事業の進捗状況の検証などを踏まえながら、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。

◆計画期間（年度）

令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
第2次西脇市総合計画											
第3期西脇市教育振興基本計画											
		西脇市スポーツ推進計画									
		西脇市生涯学習推進計画									

第2章 スポーツをめぐる現状等

1 少子高齢化と人口減少社会

我が国では全国的に少子高齢化が進行しており、将来的に人口減少が加速化することが予想されています。本市においても、第2次西脇市総合計画(令和元(2019)年～12(2030)年)や第3期西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」(令和元(2019)年～5(2023)年)に示されているように(図1)、この先、5年ごとに2千人を超える人口が減少していくと予想されています。

【人口減少予測 図1】

	平成22年 (2010年) 実績値	平成27年 (2015年) 実績値	令和2年 (2020年) 推計値	令和7年 (2025年) 推計値	令和12年 (2030年) 推計値	令和17年 (2035年) 推計値	令和22年 (2040年) 推計値
西脇市 (人)	42,802	40,866	38,775	36,583	34,341	32,067	29,823
類似団体 (人)	39,974	38,096	36,344	34,460	32,518	30,508	28,419
兵庫県 (千人)	5,558	5,535	5,443	5,306	5,139	4,949	4,743

※国立社会保障・人口問題研究所が推計した「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)による。

また、人口構造(年齢構成)においては、高齢化率が増加すると予想されています。(図2)

【年齢構成図 図2】

年次	平成22年 (2010年) 実績値	平成27年 (2015年) 実績値	令和7年 (2025年) 推計値
年少人口 (0～14歳)	14%	13%	12%
生産人口年齢 (15～64歳)	58%	56%	54%
高齢者人口 (65歳～)	28%	31%	34%

※国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所が推計した「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)による。

2 西脇市体育協会等スポーツ団体の現状

令和5(2023)年に創設70周年を迎える西脇市体育協会^{※16}は、本市のスポーツ活動をけん引する役割を担ってきました。

また、平成18(2006)年ののじぎく兵庫国体前に兵庫県の各市町の小学校区に設置されたスポーツクラブ21^{※17}についても、ニュースポーツ等を楽しむ市民が多く参加し、地域の活性化に寄与してきました。

しかしながら、少子高齢化、人口減少、共働きの増加、定年延長などの社会情勢の変化やそれに伴う価値観の多様化などの要因もあり、西脇市体育協会の加盟協会登録者数は、平成25(2013)年度にグラウンド・ゴルフ協会が加入したことにより、高齢者の登録が大幅に増加したものの、令和2(2020)年度には微減となっており、減少傾向は継続しています。

また、市内各地区のスポーツクラブ21についても子どもや若年層の会員登録数が年々減少し、西脇市スポーツ少年団に加盟している単位団数・登録者数も、平成23(2011)年度の9団体 240人から、令和2(2020)年度には7団体 133人まで減少しています。



グラウンド・ゴルフ大会の様子

3 スポーツへの期待

スポーツ庁の発足から5年が経過し、スポーツによる健康増進や地域活性化など総合的なスポーツ施策が進められる中、将来に向けて「スポーツの価値を活用した社会変革」に期待が寄せられています。

また、政府の成長戦略フォローアップ^{※18}におけるスポーツ産業の具体的な施策として「スポーツの成長産業化の基盤形成」や「スポーツを核とした地域活性化」の2つが掲げられています。

さらに、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略^{※19}でも「スポーツ・健康まちづくり」による経済と社会の活性化が掲げられるなど、スポーツの持つ潜在的で多様な価値への期待がますます高まっています。

4 スポーツ・健康まちづくり施策

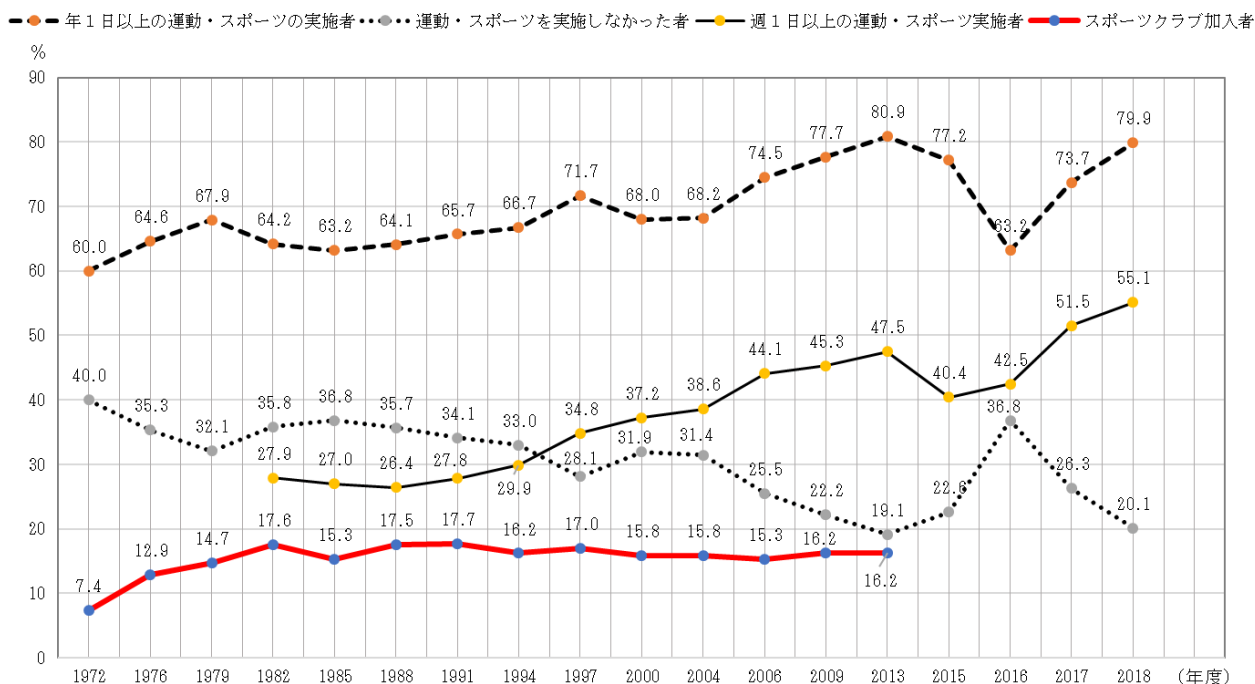
国民に対するスポーツや運動・身体活動の健康増進への寄与は広く周知され、スポーツ庁の設置により、スポーツ施策の中でも健康増進への取組について、総合的な推進が図られています。また、少子高齢化と人口減少が進む中、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局^{※20}及び内閣府地方創生推進事務局^{※21}は、平成30(2018)年度に第2期地方創生（令和2(2020)年度から令和6(2024)年度まで）「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」^{※22}を定め、第1期地方創生の基本目標をベースに時代の流れに沿った新しい視点から、スポーツ・健康まちづくりの推進が盛り込まれました。

本市においてはこのような背景なども踏まえながら、市民がいつまでも健やかで幸せに暮らせる「健幸都市・にしわき」^{※23}の実現に向け、健康寿命の延伸を目指し、施策を推進しています。

5 スポーツに関する調査

身体活動において、内閣府、文部科学省、スポーツ庁等が実施してきた調査結果は次のとおりです。

運動・スポーツ実施率の推移（20歳以上）



注 2016～2018年調査の「運動・スポーツを実施しなかった者」には回答選択肢「わからない」が含まれる。

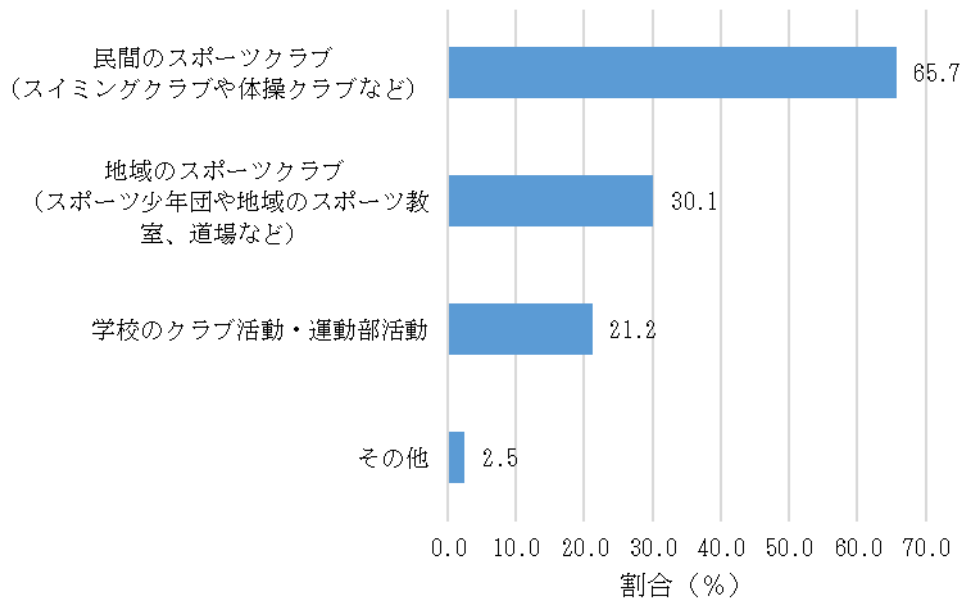
内閣府（旧総理府）「体力・スポーツに関する世論調査」（1972～2009）、文部科学省「体力・スポーツに関する世論調査」（2013）、内閣府「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」（2015）、スポーツ庁「スポーツ実施状況等に関する世論調査」（2016～2018）、笹川スポーツ財団スポーツ白書2020による。

本市との比較

年度	項目	本市	国
平成28年度 (2018年度)	過去1年間に、週1日以上の運動・スポーツを実施した者	25.4%	55.1%
	過去1年間に、運動・スポーツを実施しなかった者	39.0%	20.1%

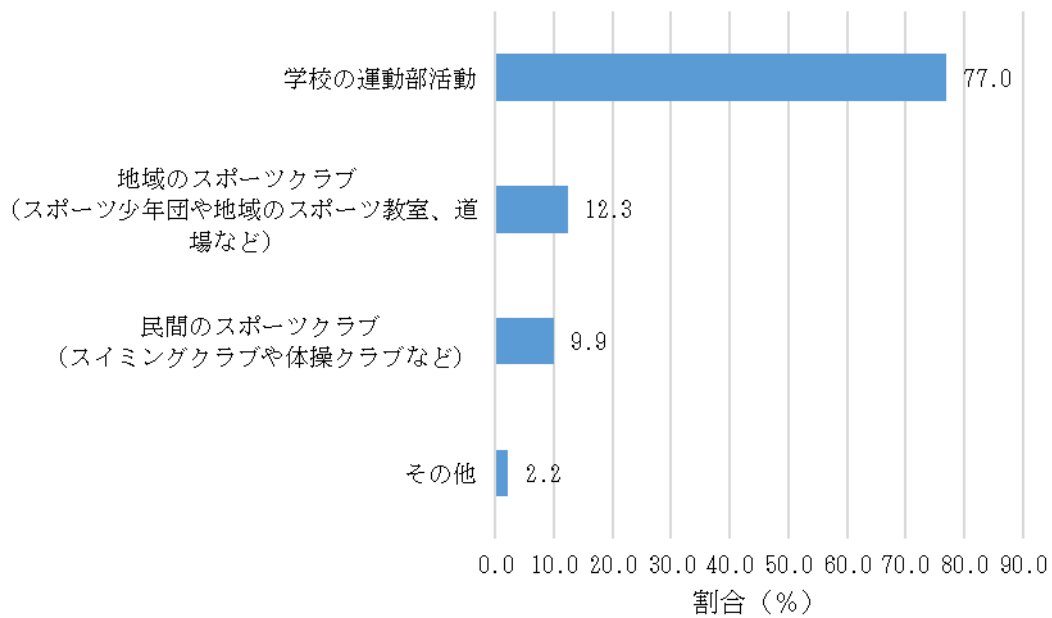
両調査とも、国の調査と比較すると実施しなかった者の割合が高くなっています。これまで以上に市民が運動・スポーツに興味を示すような取組や啓発を行う必要があります。

4～11歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類（複数回答；n＝883）

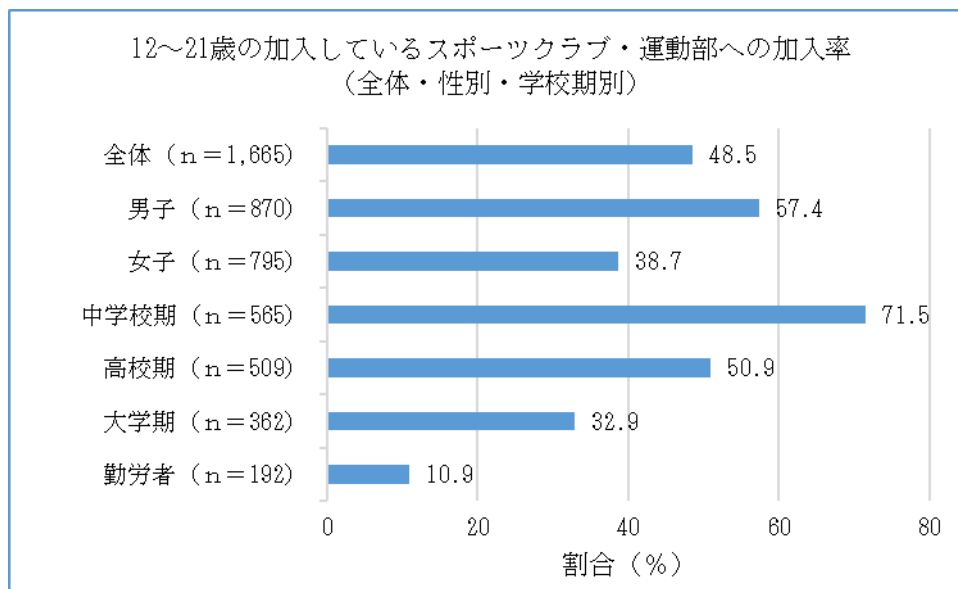


SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」（2019）、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

12～21歳の加入しているスポーツクラブ・運動部の種類（複数回答；n＝807）

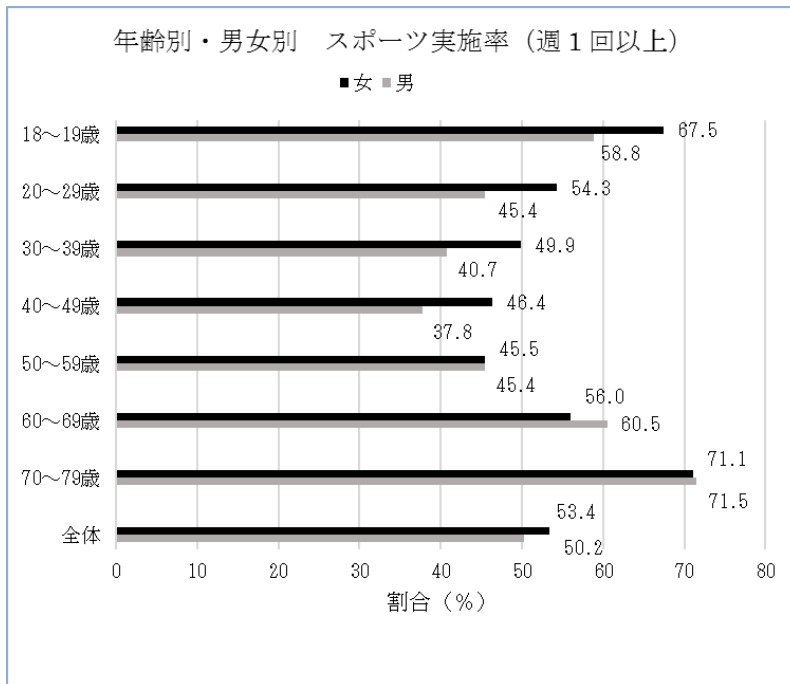


SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」（2019）、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

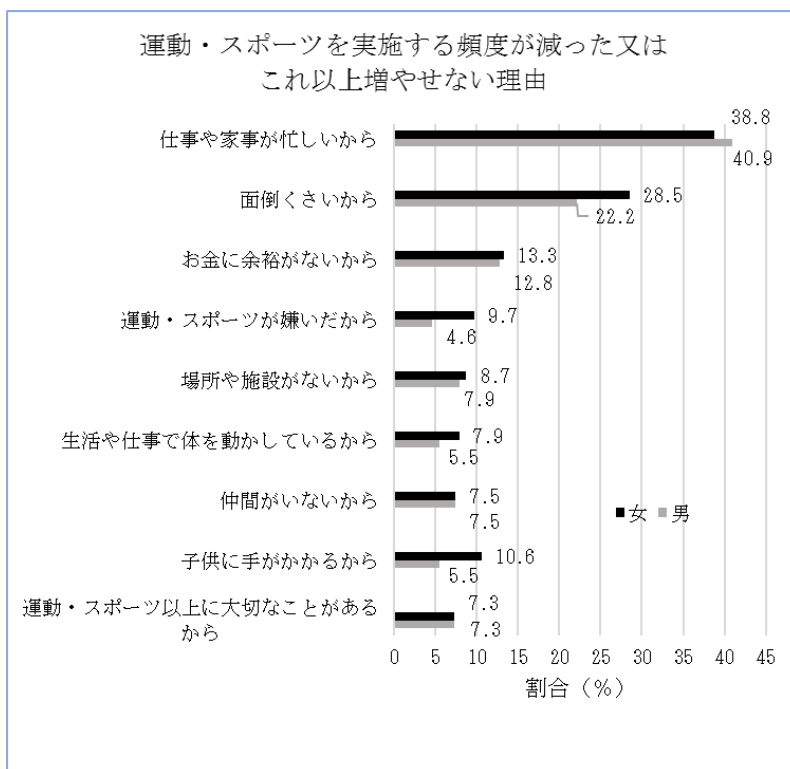


SSF「子ども・青少年のスポーツライフ・データ」(2019)、笹川スポーツ財団「スポーツ白書2020」による。

小学生以下の子どもたちについては、スポーツ活動の多くはスポーツ少年団や民間クラブへの加入により行われており、本市においても同様の状況にあります。小学生以下の子どもたちのスポーツ活動の受け皿となるスポーツ関係団体等の活性化に向け、継続的に支援するとともに、協力体制を強化することが必要です。



スポーツ庁「平成29年度 スポーツ実施状況等に関する世論調査」による。



スポーツ庁「平成29年度 スポーツ実施状況等に関する世論調査」による。

女性のスポーツ活動の実施率は、多くの年代で男性よりも低くなっており、特に50歳未満ではその差異が大きくなっています。

また、スポーツを実施する頻度が減った又はこれ以上増やせない理由について、「子どもに手がかかるから」、「仕事や家事が忙しいから」などが挙げられており、ライフステージの節目においてスポーツ習慣が途切れていると推測されます。

6 西脇市生涯スポーツ振興基本計画における主な成果

西脇市生涯スポーツ振興基本計画（平成23(2011)年～令和2(2020)年）の目標

	項 目	平成23年 (2011年) 3月末現在	目 標	
			5年後 平成27年 (2015年)	10年後 令和2年 (2020年)
①	健康づくりのために、日ごろから何らかの活動、取組（ウォーキングや体操など）をしている	48.1%	55.0%	60.0%
②	過去1年間に、週1回以上スポーツ、レクリエーション活動に取り組んでいる。	10.7%	20.0%	33.0%
③	西脇市体育協会加盟協会数	18協会	20協会	22協会
④	西脇市スポーツ少年団※24加盟単位団数	9単位団	12単位団	15単位団
⑤	市民体育大会参加者数	3,432人	3,700人	4,000人
⑥	スポーツクラブ21登録者数（8クラブ）	900人	1,000人	1,100人

目標① 健康づくりのために、日ごろから何らかの活動、取組（ウォーキングや体操など）をしている。60.0%

成 果 46.2%（平成29(2017)年度）

評 価 健康づくりのための身体活動※25や運動の推進について、検討が必要です。

目標② 過去1年間に、スポーツ、レクリエーション活動に取り組んでいる。33.0%

成 果 25.4%（平成30(2018)年度）

評 価 アンケートの質問方法にもよりますが、平成23(2011)年度との比較では大きく前進している。引き続き、多くの市民がスポーツ活動や健康に興味を示すよう推進することが必要です。

目標③ 西脇市体育協会加盟協会数 22協会

成 果 20協会（令和2(2020)年度）

評 価 微増しているが、休部協会もあり、今後は市民ニーズ等を参考に若年層が興味を持っている競技協会等の立上げについて検討を行うことが必要です。

目標④ 西脇市スポーツ少年団加盟単位団数 15単位団

成 果 7単位団（令和2(2020)年度）

評 価 少子化の影響により、2つの単位団が退団している。今後の組織のあり方や役割等を再考することが必要です。

目標⑤ 市民体育大会参加者数 4,000人

成 果 2,300人（令和2（2020）年度）

評 価 社会情勢の変化により、スポーツ大会に参加する人が減少している。スポーツ活動を通じた仲間づくりや親しみやすい環境整備が必要です。

目標⑥ スポーツクラブ21登録者数（8クラブ） 1,100人

成 果 651人（令和2（2020）年度）

評 価 8クラブにおいて地域差や開催種目による差がみられますが、どのクラブでも指導者不足による種目数の減少や社会情勢の変化等による会員の減少がみられます。また、事務局等の人員確保も困難となっており、今後の組織のあり方についての検討が必要です。

7 スポーツ活動の現状と課題

1 生涯スポーツの振興

少子高齢化、人口減少、共働きの増加、定年延長などに起因した、市民それぞれのライフステージにおけるライフスタイルの多様化が進むとともに、障害の有無や年齢、性別、国籍を問わない、共生社会^{※26}の実現に向けた取組も行われており、スポーツ活動も多様なニーズに合わせた取組が必要となります。

また、これまで「する」スポーツをけん引してきた体育協会やスポーツクラブ21も会員数は減少しており、時代のニーズに応じた運営や競技種目の選定が必要となります。

さらに、人生 100年時代^{※27}とも呼ばれる社会において、スポーツ活動による健康寿命^{※28}の延伸が重要な課題となり、医療や福祉と連携した取組が必要となります。

2 競技スポーツの振興

本市はこれまでに様々な競技において、世界や全日本クラスのトップアスリートを輩出しています。それは競技スポーツへの支援や環境が一つの要因となり、競技スポーツの振興に良い循環をもたらしているからです。

近年ではプロの競技者の試合の開催支援をするなど「みる」スポーツを推進し、競技者に刺激を与えています。

社会情勢の変化に伴い、競技スポーツを取り巻く環境も変化する中、国や兵庫県と連携しながら、今後も変わることなく世界で活躍できるトップアスリートの卵たちを支援することが必要です。

3 スポーツの環境整備

本市の既存スポーツ施設については、市民が継続してスポーツ活動が行えるよう、改修や修繕を行っていますが、老朽化も進んでおり、市民の新たなニーズに対応するための施設整備に課題を抱えています。

また、スポーツ関係団体や地域のスポーツ推進組織では、指導者の高齢化や人材不足などが進んでおり、参加者も減少傾向にあります。

市民が将来にわたって健やかにスポーツを楽しめる環境を確保していくためには、施設整備等に係る財源の確保や地域・民間と連携した運営など、効果的・効率的なスポーツ環境の整備を図るとともに、リーダーの育成、スポーツ関係機関の機能強化などを通じ、関わる人・携わる人など「ささえる」スポーツを拡大していく取組が必要です。

第3章 基本理念と基本目標

1 基本理念※29

人生 100年時代とも呼ばれる社会においては、健康寿命の延伸や共生社会の実現は重要な課題となります。健康維持のためのスポーツ活動の重要性や必要性を周知するとともに、世代、性別や国籍等に関わらず、市民の誰もがいつでも気軽にスポーツを親しむための機会づくりを推進することで、笑顔が絶えない地域を創出します。そして、そこに生まれるつながりによって、地域社会が活性化するとともに、市民生活が健康で豊かになることを目指して、次のとおり基本理念を定めます。

スポーツに親しみ、笑顔でつながる

健幸都市にしわき



2 基本目標と重点目標

基本理念の実現に向けて、次のとおり3つの基本目標を定めるとともに、基本目標ごとに特に重点的に取り組むべき事項としてそれぞれ重点目標を設定します。

基本目標1 生涯スポーツの振興

社会情勢が大きく変化する時代において、全ての市民が生涯を通じて健康で活躍できる社会を築いていくため、多様化するライフスタイルやそれぞれの身体状況等に対応したスポーツ施策を展開します。

また、人生100年時代とも呼ばれる社会において、市民の健康増進や健康寿命の延伸に寄与できるようスポーツ活動を推進します。

【重点目標】

- 1-1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 1-2 スポーツ活動への積極的な参加の推進
- 1-3 子どものスポーツ活動の推進
- 1-4 オリンピックレガシーの創出と継承

基本目標2 競技スポーツの振興

西脇市体育協会を中心として各種競技大会を行うほか、全国規模の大会等への参加者について支援を行います。

また、競技スポーツへの関心の向上と自己意識の高揚を図るため、トップアスリートによるスポーツ教室やプロリーグを開催するなど、夢と希望にあふれたトップアスリートの卵を応援します。

【重点目標】

- 2-1 各種スポーツ大会の開催支援
- 2-2 トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進

基本目標3 スポーツの環境整備

計画的な修繕や改修等により施設の有効活用を図り、市民の誰もがいつでも気軽に継続してスポーツに親しむことのできる環境整備に努めます。

また、新たな市民ニーズに対応するため、リーダーの育成、補助金等の活用や民間との協働による施設整備の可能性を検討します。

【重点目標】

- 3-1 スポーツ施設の整備・充実・有効活用
- 3-2 スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進
- 3-3 スポーツ情報の発信等の推進
- 3-4 スポーツ活動推進組織の構築

西脇市スポーツ推進計画体系図

基本目標	重点目標	施策の柱	主な取組	
① 生涯スポーツの振興	① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	① ライフステージに応じた機会の創出	遊びを通じたスポーツの推進 自由に参加できるスポーツ活動の創出（「する」スポーツの推進） 卓球を通じた生涯スポーツの推進 ユニバーサルスポーツの推進 健康ポイント制度の活用を推進 スポーツを通じた世代間交流事業の実施	
		② いつでも・どこでも・ひとりでできるスポーツの推進	市内ウォーキングコースの利用促進 市内ランニングコースの設定 市民交流施設の利用促進 日常生活の中でできる運動の推進	
		③ 人生100年時代を幸せに過ごすためのスポーツ活動の推進	健幸運動教室Ni-Coの推進 おりひめ体操の推進	
		② スポーツ活動への積極的な参加の推進	① 市民主導型スポーツ活動の推進	スポーツクラブ21への支援 西脇市体育協会への支援 西脇市民体育大会における交流大会の開催を検討 出前講座の開催やスポーツ用具等の貸出しの推進
			② スポーツ活動への参加の推進	多種多様なスポーツ教室の開催 女性が参加しやすいスポーツ活動の推進 障害者スポーツの振興 ユニバーサルスポーツの推進(再掲)
			③ 子どものスポーツ活動の推進	① 子どものスポーツ活動の充実 多種多様なスポーツ教室の開催(再掲) スポーツ少年団活動への支援 ② 学校でのスポーツ活動・運動の充実 小・中学校におけるスポーツ活動の推進 クラブ活動、運動部活動における外部指導者制度の推進 学校と地域スポーツ団体との連携の推進
	④ オリンピックレガシーの創出と継承	① スポーツレガシーの推進	卓球を通じた生涯スポーツの推進	
	② 競技スポーツの振興	① 各種スポーツ大会の開催支援	① 各種競技大会の開催支援	全国規模の大会等の開催支援 各種競技スポーツ大会等の開催支援 全国大会をはじめとする各種競技大会参加への支援 スポーツ表彰制度の推進
			② トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進	① トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援 トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援 ② 各種競技プロリーグの開催支援 「みる」スポーツの推進
		③ スポーツの環境整備	① スポーツ施設の整備・充実・有効活用	① スポーツ施設の改修・整備
	② スポーツ施設の管理運営			スポーツ施設の管理運営 市民との協働によるスポーツ施設の維持管理
	③ スポーツにおける安全の確保と事故の予防			安全の確保と事故の予防
② スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進	① スポーツ推進委員の資質向上・活用		スポーツ推進委員の資質向上 スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業の開催 健幸推進事業の実施	
③ スポーツ情報の発信等の推進	① スポーツ情報の収集・発信		スポーツコミュニティサイトの構築	
④ スポーツ活動推進組織の構築	① スポーツ関係機関の連携強化		スポーツ関係機関の連携強化 スポーツ交流ネットワークの構築 異種競技スポーツ交流大会の開催 県・他の市町との連携	
	② ボランティアの育成と組織化	スポーツボランティアバンクの検討 「ささえる」スポーツの推進		

第4章 西脇市のスポーツ推進施策

1 生涯スポーツの振興

【重点目標1-1】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

人生100年時代を見据え、健康寿命の延伸は重要な課題になります。健康維持のためのスポーツ活動の重要性や必要性を周知するとともに、ライフステージに応じて誰もがいつでも気軽にスポーツ活動を親しむための機会づくりを推進します。

(1) ライフステージに応じた機会の創出

◆ 遊びを通じたスポーツの推進

幼児・児童期には身体を動かすことを好きになることが重要です。親子で参加できるレクリエーションやごっこ遊びなど楽しさを通じたスポーツ教室・イベントを開催します。

【具体的な取組】

- ・民間を活用した遊びを通じたスポーツ教室の開催

◆ 自由に参加できるスポーツ活動の創出（「する」スポーツの推進）

団体への加盟や教室への申込みに加え、スポーツをしたい人が自由に集まることができる施設や機会を創出し、ライフスタイルに応じたスポーツ活動を促進します。

【具体的な取組】

- ・体育施設の無料開放

◆ 卓球を通じた生涯スポーツの推進

市内各町公民館等へ卓球台を配置するとともに、卓球交流大会を開催するなど、グラウンド・ゴルフやウォーキングに加え、年齢を問わず楽しめる卓球を通じた生涯スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・卓球交流イベント・大会の開催
- ・地域の公民館等への卓球台配置

◆ ユニバーサルスポーツ※30の推進

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人が分け隔てなく、スポーツを楽しみ、スポーツを通じて、互いを理解・尊重する共生社会の実現に向けて、ニュースポーツ※31を利用したユニバーサルスポーツ大会の開催を推進します。

【具体的な取組】

- ・ボッチャ※32等のユニバーサルスポーツ大会の開催

◆ 健康ポイント制度の活用を推進

市民がウォーキングなど健康づくりに取り組むことでポイントが貯まる健康ポイント制度を推進し、楽しみながら活動に参加するきっかけづくりにつなげます。

【具体的な取組】

- ・スポーツイベント等での健康ポイント制度のPR

◆ スポーツを通じた世代間交流事業の実施

地域の活性化や生きがいをづくりを目指し、スポーツによる世代間交流イベントを開催します。

【具体的な取組】

- ・スポーツを通じた世代間交流グラウンド・ゴルフ大会の開催

測定指標

- ・遊びを通じたスポーツの推進に係るイベントへの参加者数

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：50人／年】

- ・過去1年間に、週1回以上、スポーツ・レクリエーション活動をしたことがある市民の割合

【現状値（2018年度）：25.4% ⇒ 目標値（2025年度）：35.0%】

- ・過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をしなかった市民の割合

【現状値（2018年度）：39.0% ⇒ 目標値（2025年度）：31.0%】

- ・卓球交流イベント・大会の開催回数及び参加者数

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 100人】

- ・卓球台が整備された公共施設等の数
【現状値（2020年度）：37か所 ⇒ 目標値（2025年度）：60か所】
- ・ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒
目標値（2025年度）：1回／年 50人】
- ・スポーツを通じた世代間交流事業の実施回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒
目標値（2025年度）：1回／年 100人】

(2) いつでも・どこでも・ひとりでもできるスポーツの推進

◆ 市内ウォーキングコースの利用促進

気軽に歩ける市役所ウォーキングコース^{※33}やウォーキング会等、イベントの開催を通して、市内の観光名所等を巡る9コース、全長100kmのにしわきウォーキングコース^{※34}の利用促進を図ります。

【具体的な取組】

- ・にしわきウォーキングコースを利用したウォーキング会の開催

◆ 市内ランニングコースの設定

西脇子午線マラソン大会^{※35}の経緯度周辺コース^{※36}や西脇多可新人高校駅伝競走大会^{※37}の北はりま田園ハーフマラソンコース^{※38}を市民ランニングコースとして設定します。

◆ 市民交流施設^{※39}の利用促進

トレーニングルームの利用や健幸運動教室への参加等、ライフステージやライフスタイルに合わせて気軽に運動が楽しめる市民交流施設の利用促進を図ります。

◆ 日常生活の中でできる運動の推進

身体活動や運動が健康に及ぼす効果についての知識は普及しつつあるものの、実際に行っている市民の割合は低い状態にあります。市民が無理なく日常生活の中で運動を実施できる方法を提供します。

【具体的な取組】

- ・啓発資料の作成及び配布

測定指標

- ・ウォーキング会等への参加者数
【現状値（2019年度）：130人／年 ⇒ 目標値（2025年度）：250人／年】
- ・市内ランニングコースの設定数及び整備数
【現状値（2020年度）：設定なし ⇒ 目標値（2025年度）：5コース】
- ・市民交流施設のうごくスタジオ^{※40}の稼働率
【現状値（2021年度目標）：50% ⇒ 目標値（2025年度）：60%】

(3) 人生 100年時代を幸せに過ごすためのスポーツ活動の推進

◆ 健幸運動教室N i - C o^{※41}の推進

本市は健幸都市「スマートウェルネスシティ^{※42}」を目指しています。フレイル^{※43}や生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた、運動プログラムを活用した健幸運動教室への参加を推進します。

◆ おりひめ体操^{※44}の推進

寝たきりや介護予防については、できるだけ早期に、または元気な時から筋力を強くすることが必要なため、本市が専門家と一緒に考えた、おりひめ体操を推進します。

測定指標

- ・健幸運動教室N i - C oへの参加者数
【現状値（2020年度）：200人 ⇒ 目標値（2025年度）：1,200人】
- ・おりひめ体操の参加者数
【現状値（2020年度）：476人 ⇒ 目標値（2023年度）：811人】

【重点目標 1－2】

スポーツ活動への積極的な参加の推進

本市のスポーツ活動を支えている西脇市体育協会、スポーツクラブ21への加入促進や支援を行うとともに、障害者、女性スポーツの推進など誰もが楽しむことができるスポーツ活動への積極的な参加を推進します。

(1) 市民主導型スポーツ活動の推進

◆ スポーツクラブ21への支援

地域のまちづくりにおいて特性があるように、地域のスポーツ活動にも特性があり、それぞれの楽しみ方や関わり方があります。

スポーツクラブ21の地域スポーツへの関わり方を検証し、より良い体制づくりを推進します。また、時代に合わせた運営が行えるよう支援します。

【具体的な取組】

- ・市内8つのスポーツクラブ21の共同運営の検討

◆ 西脇市体育協会への支援

西脇市体育協会と他のスポーツ関係団体との連携や若年層が好む新たなスポーツ分野の加入促進など、西脇市体育協会が行う時代に対応した組織づくりを支援します。

【具体的な取組】

- ・スポーツクラブ21やスポーツ推進委員との連携
- ・若年層が集う市内スポーツ活動団体への加入促進

◆ 西脇市民体育大会における交流大会の開催を検討

市民体育大会について、仲間づくりやスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるために、交流や親睦を目的とした大会の開催を検討します。

【具体的な取組】

- ・3世代親睦卓球大会の開催
- ・3世代親睦グラウンド・ゴルフ大会の開催

◆ 出前講座^{※45}の開催やスポーツ用具等の貸出しの推進

気軽に様々なスポーツを体験できるよう、出前講座の推進やスポーツ用具等の貸出しを行います。

【具体的な取組】

- ・スポーツ推進委員^{※46}による出前講座の開催
- ・おじゃビンゴ・グラウンド・ゴルフ・スポーツ吹き矢等の用具の貸出し

測定指標

- ・過去1年間に、週1回以上、スポーツ・レクリエーション活動をしたことがある市民の割合（再掲）

【現状値（2018年度）：25.4% ⇒ 目標値（2025年度）：35.0%】

- ・過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をしなかった市民の割合（再掲）

【現状値（2018年度）：39.0% ⇒ 目標値（2025年度）：31.0%】

- ・西脇市体育協会への加盟協会数

【現状値（2020年度）：20協会 ⇒ 目標値（2025年度）：22協会】

- ・西脇市民体育大会交流大会の開催回数

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】

- ・出前講座におけるスポーツ関連講座開催回数

【現状値（2020年度）：1講座 ⇒ 目標値（2025年度）：5講座】

- ・貸出しできるスポーツ用具の種類

【現状値（2020年度）：6種類 ⇒ 目標値（2025年度）：10種類】

(2) スポーツ活動への参加の推進

◆ 多種多様なスポーツ教室の開催

多くの市民がスポーツ活動に積極的に参加できるよう、種目数の増加や民間事業者等の活用を検討し、市民ニーズに対応したスポーツ教室を開催します。

【具体的な取組】

- ・バスケットボール、スケートボード、ボルダリング教室の開催の検討

◆ 女性が参加しやすいスポーツ活動の推進

託児等、女性が参加しやすい環境整備や啓発に取り組むとともに、大会運営への参画を図るなど女性が活躍できるスポーツ活動を推進します。

【具体的な取組】

- ・託児所の開設や更衣室、シャワールームの設置を検討
- ・家族で参加できるスポーツイベントの開催

◆ 障害者スポーツの振興

障害者が自らの可能性にチャレンジし、仲間との交流が深められるよう、NPO法人をはじめとした民間等との連携の下、障害者スポーツの振興を図ります。また、（公財）兵庫県障害者スポーツ協会^{※47}と連携して、障害者が競技レベルに応じた種目を選択できる仕組みづくりを行います。

【具体的な取組】

- ・ 障害者運動会の開催
- ・ のじぎく障害者スポーツ大会^{※48}への参加推進

◆ ユニバーサルスポーツの推進（再掲）

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、全ての人が分け隔てなく、スポーツを楽しみ、スポーツを通じて、互いを理解・尊重する共生社会の実現に向けて、ニュースポーツを利用したユニバーサルスポーツ大会の開催を推進します。

【具体的な取組】

- ・ ボッチャ等のユニバーサルスポーツ大会の開催

測定指標

- ・ スポーツ教室の種目数
【現状値（2020年度）：8種類 ⇒ 目標値（2025年度）：13種類】
- ・ スポーツを楽しむための託児制度導入の検討
【現状値（2020年度）：未検討 ⇒ 目標値（2025年度）：導入】
- ・ 家族で楽しめるスポーツイベントの開催回数
【現状値（2020年度）：未開催 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】
- ・ 女性がスポーツ活動を楽しめる環境整備
【現状値（2020年度）：未検討 ⇒ 目標値（2025年度）：導入】
- ・ 障害者スポーツイベントの開催回数及び参加者数
【現状値（2019年度）：1回／年 50人／年 ⇒
目標値（2025年度）：2回／年 100人／年】

- ・ のじぎく障害者スポーツ大会への参加者数
【現状値（2019年度）：21人 ⇒ 目標値（2025年度）：40人】
- ・ ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数（再掲）
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年 100人】

【重点目標1－3】

子どものスポーツ活動の推進

スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資するもので、心の豊かさや生きがいを与えてくれるものです。しかしながら、社会環境や生活様式の変化に伴い、子どもの外遊びやスポーツ活動の時間が減少しており、遊びを中心とした主体的な身体活動を生活全体の中で確保していくことが難しくなっています。

国の動向を注視しつつ、学校と地域が連携することによって、子どもたちが従来のスポーツ活動を継続できるような環境整備を研究します。

(1) 子どものスポーツ活動の充実

◆ 多種多様なスポーツ教室の開催（再掲）

子どもたちがスポーツ活動に積極的に参加できるよう、種目数の増加や民間事業者等の活用を検討し、ニーズに対応したスポーツ教室を開催します。

【具体的な取組】

- ・ スポーツ教室の開催種目に関する調査
- ・ 調査結果による、新たなスポーツ教室の開催

◆ スポーツ少年団活動への支援

スポーツ活動を通して、青少年の心身の健全な発達を目的とするスポーツ少年団の支援を行います。

また、少子化など社会情勢の変化に伴い、子どものスポーツ活動への関わり方も変化しています。時代のニーズに合わせた少年団活動を支援するとともに、子どもたちが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。

【具体的な取組】

- ・ ジュニアリーダー講習会の開催支援
- ・ スポーツ少年団に求められるニーズ調査

測定指標

- ・スポーツ教室の種目数（再掲）
【現状値（2020年度）：8種類 ⇒ 目標値（2025年度）：13種類】
- ・時代のニーズに合わせたスポーツ少年団活動の検討
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：実施】

(2) 学校でのスポーツ活動・運動の充実

◆ 小・中学校におけるスポーツ活動の推進

小・中学校における授業やレクリエーションではスポーツ活動の楽しさを感じ、取り組むきっかけづくりを行うとともに、楽しみながらスポーツに親しめるよう「いきいき体力づくり」^{※49}を実施します。

◆ クラブ活動、運動部活動における外部指導者制度の推進

外部指導者制度^{※50}を活用し、教員の負担を抑えるとともに、顧問と外部指導者が連携することで人間関係を育てる環境づくりを行います。また、児童生徒の競技力の向上だけでなく、個人の心身の成長を促すことができるよう、従来の学校部活動と変わらないスポーツ活動の環境を整備します。

◆ 学校と地域スポーツ団体との連携の推進

文部科学省による中学校部活動の地域部活動への一部移管の方向性を踏まえ、学校と地域が融合した部活動を展開するとともに、従来のスポーツ活動が継続できるような環境・受入体制の整備について研究するとともに、地域の活性化へ繋がります。

【具体的な取組】

- ・地域の既存スポーツ活動団体との調整

測定指標

- ・クラブ活動、運動部活動における外部指導者の採用件数
【現状値（2020年度）：3件 ⇒ 目標値（2025年度）：10件】
- ・地域スポーツ団体の中学運動部活動受入件数
【現状値（2020年度）：0件 ⇒ 目標値（2025年度）：3件】

【重点目標 1－4】

オリンピックレガシーの創出と継承

本市は東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてオーストラリア卓球チームの事前合宿を受け入れます。そのために改修した西脇市総合市民センター体育館や卓球を通じた生涯スポーツの推進をオリンピックレガシーとして次世代に継承します。

(1) スポーツレガシー^{※51}の推進

◆ 卓球を通じた生涯スポーツの推進

本市は、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてオーストラリア卓球チームの事前合宿を受け入れます。そのためにユニバーサルデザインを採用するとともに、照明設備を国際大会基準へと改修した西脇市総合市民センターを活用し、誰もが気軽に卓球に親しめる環境を整備するとともに、卓球を通じた生涯スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・健康卓球^{※52}教室や講演会の開催

測定指標

- ・卓球交流イベント・大会の開催回数及び参加者数（再掲）

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 100人】

- ・ユニバーサルスポーツ大会の開催回数及び参加者数（再掲）

【現状値（2020年度）：未実施 ⇒

目標値（2025年度）：1回／年 50人】



2 競技スポーツの振興

【重点目標2-1】

各種スポーツ大会の開催支援

競技スポーツに励むためのモチベーション^{※53}の一つとして、大きな大会への参加やそこでの活躍があります。西脇市体育協会や（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団と連携し、大会の開催や参加について支援します。

(1) 各種競技大会の開催支援

◆ 全国規模の大会等の開催支援

西脇子午線マラソン大会や西脇多可新人高校駅伝競走大会など市内での全国規模の大会の開催を支援します。

◆ 各種競技スポーツ大会等の開催支援

西脇市体育協会がスポーツ振興や競技力向上を目的に開催する各種競技スポーツ大会について、（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団^{※54}と連携して支援を行います。

◆ 全国大会をはじめとする各種競技大会参加への支援

本市にゆかりのあるトップアスリートの卵たちの競技力やモチベーションの向上に向け、（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団と連携し、各種全国大会等への出場を支援します。

【具体的な取組】

- ・近畿大会以上に出場する個人や団体に助成金を給付

◆ スポーツ表彰制度の推進

継続的なスポーツ活動の発展に向け、スポーツ振興への寄与、スポーツ活動での功績が顕著な者や優秀な成績を残した者をたたえるスポーツにおける表彰制度を継続します。

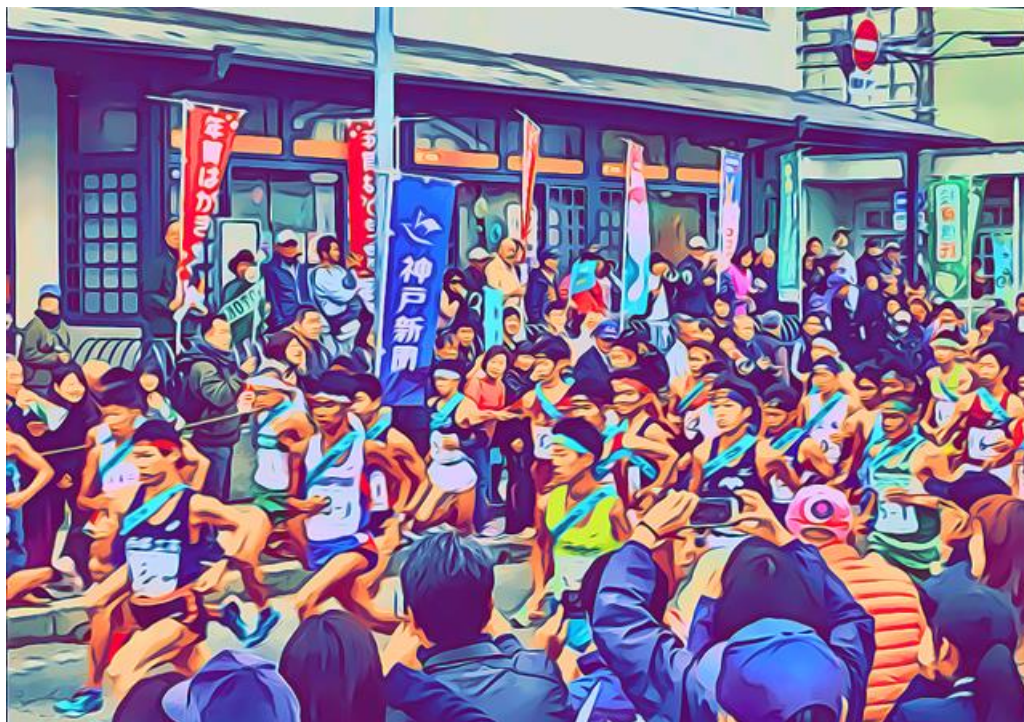
【具体的な取組】

- ・西脇市スポーツ・文化賞^{※55}、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞^{※56}」、丸山完二賞^{※57}、体育協会表彰^{※58}の申請受付及び審査

測定指標

・西脇市スポーツ・文化賞、西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」、丸山完二賞、
体育協会表彰等の継続実施

【現状値（2020年度）：実施済 ⇒ 目標値（2025年度）：継続】



【重点目標 2-2】

トップアスリートを活用した競技スポーツ普及活動の推進

トップアスリートのプレーを観戦することで自己意識が高揚し、競技スポーツへの関心が高まります。市民がトップアスリートを直接感じることができるスポーツ教室の開催を支援します。

また、プロの競技者の試合を観戦することは、トップアスリートになる夢を抱く子どもたちに大きな影響を与えます。併せて、市民が「応援」という形でスポーツに携わることによって、スポーツ活動に参加するきっかけづくりともなることからプロリーグの開催を支援します。

(1) トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援

◆ トップアスリートによるスポーツ教室の開催支援

トップアスリートのプレーを肌で感じることや経験を通じた指導を受けることは大きな刺激と感動をもたらすとともに、楽しさや継続することの大切さを学び、スポーツ活動への意欲の向上が期待できることから、トップアスリートによるスポーツ教室の開催を支援します。

【具体的な取組】

- ・プロ野球経験者等による少年野球教室の開催
- ・西村卓二氏^{※59}による卓球教室の開催
- ・兵庫デルフィーノ^{※60}によるバレーボール教室の開催

測定指標

- ・トップアスリートによるスポーツ教室への参加人数

【現状値（2019年度）：400人 ⇒ 目標値（2025年度）：500人】

(2) 各種競技プロリーグの開催支援

◆ 「みる」スポーツの推進

躍動するトップアスリートのプレーを直近に観戦することは日常生活では受けることのない刺激を観戦者に与えます。「応援」という形でスポーツに携わることでスポーツ活動への参加のきっかけづくりとなる「みる」スポーツを推進します。

【具体的な取組】

- ・ Vリーグ兵庫デルフィーノホームゲームの開催支援
- ・ 日本プロ野球さわかみ関西独立リーグ※61神戸三田ブレイバース※62ホームゲームの開催支援

測定指標

- ・ プロリーグの試合開催数及び集客数（延べ）

【現状値（2019年度）：5試合 ⇒ 目標値（2025年度）：14試合】

【現状値（2019年度）：600人（延べ） ⇒

目標値（2025年度）：1,000人（延べ）】



3 スポーツの環境整備

【重点目標3-1】

スポーツ施設の整備・充実・有効活用

スポーツ活動を行う上で、スポーツ施設の充実は、必要不可欠です。利用方法、利用時間や競技種目に配慮し、既存施設の改修・修繕整備を計画的に行うとともに、多様なニーズに対応するために、新たな施設整備の可能性について検討します。

(1) スポーツ施設の改修・整備

◆ スポーツ施設の改修・整備

西脇市公共施設等総合管理計画^{※63}により、既存体育施設の修繕・改修等を行い、適正化を図りながら継続活用していきます。

また、新たなスポーツ活動へのニーズに対応するため、補助金等の活用や民間との協働による施設整備の可能性を検討します。

【具体的な取組】

- ・公共施設等総合管理計画（社会体育施設）個別施設計画^{※64}の策定（日野体育センター、黒田庄体育センター、天神池スポーツセンター、青年の家）

◆ 各地区のスポーツ拠点整備の推進

市民によるスポーツ活動の推進・拡大を目指し、地域スポーツ活動の活性化の拠点として、地区小・中学校のグラウンド・体育館の活用を推進します。

【具体的な取組】

- ・各地区スポーツクラブ21による活用推進

測定指標

- ・公共施設等総合管理計画個別施設計画の策定済みの社会体育施設数
【現状値（2020年度）：1施設 ⇒ 目標値（2025年度）：5施設】

(2) スポーツ施設の管理運営

◆ スポーツ施設の管理運営

スポーツ施設の管理運営を地域や利用者の自主的活動に委ねるなど、管理運営の弾力化を図るとともに、必要に応じて指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化や利用者サービスの向上を図ります。

【具体的な取組】

- ・地域へ社会体育施設の清掃等を委託

◆ 市民との協働によるスポーツ施設の維持管理

地域活性化を目的とした、持続的なスポーツ環境の確保に向け、受益者負担の観点を踏まえ、利用者の協働によるスポーツ施設の維持管理を推進します。

【具体的な取組】

- ・利用者による社会体育施設の清掃活動やグラウンド整備等の推進

測定指標

- ・市民等と協働管理する社会体育施設等数

【現状値（2020年度）：5施設 ⇒ 目標値（2025年度）：8施設】

(3) スポーツにおける安全の確保と事故の予防

◆ 安全の確保と事故の予防

スポーツ活動中の心肺停止事故に対応できるよう、本市、小・中学校及び社会体育施設に配置しているAED^{※65}の更新を行います。

また、新型コロナウイルスのような感染症については、利用者による感染対策の徹底を促進するとともに、利用施設の消毒を行うなど、感染拡大防止策を講じます。

さらに、AED、新型コロナウイルス^{※66}や熱中症^{※67}等のスポーツ活動中の事故防止についての講習会の開催や受講を推進します。

【具体的な取組】

- ・社会体育施設のAED及びパッドの随時更新
- ・「救急ナイトスクール^{※68}」AED講習会へ参加促進
- ・新型コロナウイルス等感染拡大防止策の徹底
- ・スポーツ活動中の事故防止対策についての講習会の開催

測定指標

- ・スポーツ活動中の事故防止対策についての講習会の開催回数及び参加者数
【現状値（2020年度）：0回 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】
【現状値（2020年度）：0人 ⇒ 目標値（2025年度）：30人／年】



【重点目標3-2】

スポーツ指導者の育成・確保・活用の推進

スポーツ推進委員は、生涯スポーツを振興する上で、行政と市民を結ぶパイプ役として重要な役割を担っています。また、スポーツ活動をめぐる現状の課題解決について、リーダーとしての役割が期待されることから、スポーツ推進委員の育成を行うとともに更なる資質向上と活用を図ります。

(1) スポーツ推進委員の資質向上・活用

◆ スポーツ推進委員の資質向上

社会情勢等の変化により、スポーツ活動も大きく変化しています。地域のスポーツ活動のキーパーソン^{※69}として期待がかかるスポーツ推進委員について、地域スポーツの支援や指導者としての役割が担えるように（公社）全国スポーツ推進委員連合^{※70}等が開催する研修の受講などを通してリーダーとしての資質の向上を図ります。

◆ スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業の開催

市民がスポーツ活動に親しむ環境を整備するため、また、働き盛りの年齢層、高齢者、女性や障害者などがスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業を開催します。

【具体的な取組】

- ・ ウォーキング会、ハイキングの開催
- ・ ポールウォーキング教室の開催

◆ 健幸推進事業の実施

「健幸都市・にしわき」の実現に寄与するためにしわきウォーキングコースの活用によるウォーキング会の開催やユニバーサルスポーツであるボッチャ等を活用した出前講座や交流イベント等を開催します。

測定指標

- ・ （公社）全国スポーツ推進委員連合等が開催する研修会への参加者数
【現状値（2019年度）：40人（延べ人数） ⇒ 目標値（2025年度）：50人（延べ人数）】
- ・ 障害者スポーツ指導員^{※71}資格取得数
【現状値（2019年度）：2人 ⇒ 目標値（2025年度）：5人】

- ・スポーツ推進委員によるスポーツ振興自主事業への参加者数
【現状値（2019年度）：100人 ⇒ 目標値（2025年度）：200人】

【重点目標3-3】

スポーツ情報の発信等の推進

スポーツイベントの開催情報を市のホームページ^{※72}や広報紙等でお知らせするほか、スポーツ活動に興味のある市民が、スポーツ団体等の活動情報などをいつでもどこでも検索できるよう、市内スポーツ情報全般をWEB^{※73}上に集約し、発信します。

(1) スポーツ情報の収集・発信

◆ スポーツコミュニティサイトの構築

スポーツイベント、スポーツ施設の概要、スポーツ活動団体の活動情報などが揃うスポーツコミュニティサイト^{※74}を構築し、スポーツ活動情報の一元化を図ります。また、スポーツ活動に対するアンケート調査なども行えるよう検討します。

【具体的な取組】

- ・西脇市まるごとスポーツ広場（仮称）の構築

測定指標

- ・西脇市まるごとスポーツ広場（仮称）の構築
【現状値（2020年度）：未構築 ⇒ 目標値（2025年度）：構築】

【重点目標 3－4】

スポーツ活動推進組織の構築

少子高齢化や人口減少に対応し得る、次世代のスポーツ活動推進組織の構築について研究を進めるため、市内スポーツ団体の連携強化を図ります。

また、スポーツ活動を行う上で必要な指導者やイベントスタッフ等「ささえる」スポーツに従事するボランティアの組織化を推進します。

(1) スポーツ関係機関の連携強化

◆ スポーツ関係機関の連携強化

西脇市体育協会、スポーツクラブ21にしわき連絡協議会、西脇市スポーツ推進委員を軸とした次世代のスポーツ組織の構築に向けて、地域一体となった研究を進めるため、スポーツ関係機関相互の連携強化を図ります。

【具体的な取組】

- ・西脇市体育協会、スポーツクラブ21にしわき連絡協議会^{※75}、西脇市スポーツ推進委員による連携会議の開催

◆ スポーツ交流ネットワークの構築

次世代のスポーツ活動の柱になると期待される地域スポーツを中心に、学校、地域やスポーツ関係機関の交流ネットワークの構築について研究します。

【具体的な取組】

- ・全国市町村の取組の研究
- ・スポーツ交流ネットワークの構築に係る会議の開催

◆ 異種競技スポーツ交流大会の開催

異なるスポーツ活動をする市民の相互交流・協力により、連携を強化することで、これからの本市のスポーツ活動をけん引できるよう、異種スポーツ競技交流大会を開催します。

【具体的な取組】

- ・異種競技交流グラウンド・ゴルフ大会の開催

◆ 県・他の市町との連携

人口減少や少子高齢化の進行に対応し、多様なスポーツ活動を確保するため、スポーツ大会の共同開催など、自治体の枠組みを超えた連携事業を実施します。

【具体的な取組】

- ・定住自立圏^{※76}によるスポーツイベントの共同開催

測定指標

- ・市内スポーツ団体の連携による次世代スポーツ組織の構築研究会の開催回数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：2回／年】
- ・異種スポーツ競技交流スポーツ大会への開催回数
【現状値（2020年度）：未開催 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】

(2) ボランティアの育成と組織化

◆ スポーツボランティアバンク^{※77}の検討

人口減少等を背景としたスポーツ活動やイベント等のスタッフ不足を解消するため、スポーツボランティアバンクの設立など、ボランティア人材の組織化を検討します。

◆ 「ささえる」スポーツの推進

ボランティアスタッフとして、大会等に関わる「ささえる」スポーツがスポーツ活動への参加であることを啓発するとともに、「ささえる」「みる」ことで「する」スポーツへの移行を促し、生涯スポーツへの参加を推進します。

【具体的な取組】

- ・ワールドマスターズゲームズKANSAI 2021／JAPAN^{※78}の開催に伴うボランティアの推進
- ・本市スポーツイベント開催に伴うボランティアの推進

測定指標

- ・スポーツボランティア講座の開催回数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：1回／年】
- ・スポーツボランティアバンクの開設及び会員数
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：開設】
【現状値（2020年度）：未実施 ⇒ 目標値（2025年度）：20人】

第5章 計画の推進体制と進捗管理

1 計画の推進体制

本計画は、教育にとどまらず、健康福祉、まちづくり等の幅広い分野に広がる計画です。この計画の推進には、スポーツに関わる全ての関係者が、それぞれの役割を担いながら連携して取り組むことが必要となります。

関係団体等による協議の場づくりから始め、市民と行政との協働による推進体制を確立します。

(1) 施策の推進体制

スポーツの推進は、行政のあらゆる分野の政策に関わり、総合的に関連付ける必要があります。また、本計画の基本目標達成のため、西脇市自治基本条例に規定する基本原則を踏まえ、市民との協働による取組という認識に立った体制を確立し、推進します。

(2) 連携体制

本計画の目標達成のためには、行政だけでなく、スポーツに取り組む様々な団体・グループ・個人が関わりを持ちながら活動していくことが必要です。施策推進の中心となる市教育委員会スポーツ所管部署を核とし、庁内関係課・国や兵庫県・家庭・地域・学校及び企業やNPO法人・関係団体と連携を図ることができる体制を構築します。

(3) 本計画の周知

施策を効果的に推進するためには、本計画を市民や関係団体等周知し、理解いただくことが必要です。市広報紙やホームページへの掲載をはじめとしたあらゆる広報手法を使い、本計画やスポーツ活動の重要性の啓発に努めます。

2 計画の進捗管理

本計画は、計画期間中において、教育に関する事務の点検及び評価により本計画の成果の評価・検証を行いつつ、より効果的で効率的に施策を総合的に推進していきます。また、その時々課題解決のために、計画期間の途中においても必要に応じて見直しを図ります。

用語説明 あいうえお順

【あ行】

No.	用語
※4	<p>一億総スポーツ社会の実現</p> <p>国の第2期スポーツ推進計画でスポーツを「する」「見る」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大を目指しているもので、その結果、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創ることを目標としている。</p>
※73	<p>WEB</p> <p>「ワールドワイドウェブ」の略。インターネット上に分散したハイパーテキスト形式の情報を検索するシステム</p>
※40	<p>うごくスタジオ</p> <p>市民交流施設にある健康教室など体を動かすことを目的に貸し出される諸室。</p>
※65	<p>AED</p> <p>自動体外式除細動器のこと。心室細動を起こした人に電気ショックを与えることで、正常なリズムに戻すための医療機器。</p>
※44	<p>おりひめ体操</p> <p>西脇市が医師や歯科医師をはじめ、多くの専門家の方たちと一緒に考案した、足や腰の筋力アップと、お口の健康を保つための体操</p>
※11	<p>オリンピックレガシー</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック後に残る有形無形のレガシー、すなわち「社会的遺産」（ソーシャル・キャピタル）・文化的財・環境財のこと。</p>

【か行】

※50	<p>外部指導者</p> <p>中学校・高等学校の部活動において、顧問の教諭と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。</p>
※69	<p>キーパーソン</p> <p>何かを決定して行動する時、意思決定などに強い影響力を持つ人物</p>
※38	<p>北はりま田園ハーフマラソンコース</p> <p>毎年2月3週目に開催される西脇多可新人高校駅伝競走大会のコースで、西脇アピカから多可町ベルディーホールを往復する日本陸連公認ハーフマラソンコース。</p>

※29	基本理念 組織がその根本に据える理念や目標、思想のこと。
※68	救急ナイトスクール 平成12年（2000年）から医師会等からなる実行委員会が開催している、心肺蘇生法やA E D（自動体外式除細動器）の使用方法を学ぶ講習会
※26	共生社会 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会
※36	経緯度周辺コース 毎年12月2週目に開催される西脇子午線マラソン大会のコースで、西脇市日本へそ公園周辺の日本陸連公認ハーフマラソンコース。
※41	健幸運動教室N i - C o フレイルや生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた運動プログラムを活用した運動教室
※28	健康寿命 WHOが提唱した新しい指標で、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。
※52	健康卓球 一般社団法人 卓球で日本を元気にする会が提案する、卓球の楽しみ方で老年医学・整形外科の専門家や、卓球選手と協働し、高齢者や身体に障害のある人にも有効な卓球のプレー方法として提案している。
※23	健幸都市・にしわき 少子高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域において、いつまでも健やかで幸せに暮らせることができる都市像。
※70	（公社）全国スポーツ推進委員連合 体育指導委員の全国組織として、昭和35年（1960年）に、全国体育指導委員協議会が結成。昭和50年（1975年）9月27日に、社団法人の許可を受けた全国体育指導委員連合を設立。その後、平成23年（2011年）8月の「スポーツ基本法」施行による体育指導員から「スポーツ推進委員」への名称変更とともに、公益法人改革に伴う「公益社団法人」への移行により、平成24年（2012年）4月1日、「公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合」として設立。
※54	（公財）西脇市文化・スポーツ振興財団 市民一人ひとりが、より豊かな生活をおくり、活力ある地域社会を築いていくために、優れたスポーツや芸術文化との新鮮な出会いを提供し、西脇市が進める「市民と協働のまちづくり」に寄与している。

※47	<p>(公財) 兵庫県障害者スポーツ協会</p> <p>障害者のスポーツ活動を通じた健康の維持増進と、明るく強固な自立の精神を養うことを支援し、障害者の社会参加の促進と福祉の増進に寄与することを目的として、兵庫の障害者スポーツの推進に取り組んでいる。</p>
※62	<p>神戸三田ブレイバース</p> <p>日本のプロ野球独立リーグの球団で、本拠地は兵庫県三田市。2020年までの名称は兵庫ブルーサンダーズでプロ野球独立リーグ・旧関西独立リーグに2011年より参入。2013年シーズン終了後に関西独立リーグを脱退し、2014年からは06BULLSとともに設立したさわかみ関西独立リーグに加盟している。</p>
※64	<p>個別施設計画</p> <p>インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため策定された「インフラ長寿命化基本計画」等に基づき、各地方公共団体等が策定する計画。各施設に必要な機能を維持するため中長期にわたる整備の内容や時期、費用等を具体的に表した計画で、限られた財源の中で施設を長寿命化しながら維持管理・更新コストの縮減・平準化を図るなど、戦略的に施設整備を進めるもの。</p>

【さ行】

※61	<p>さわかみ関西独立リーグ</p> <p>近畿地方を中心に活動するプロ野球独立リーグ。</p>
※25	<p>身体活動</p> <p>安静にしている状態より多くのエネルギーを消費するすべての動作。</p> <p>「運動」：身体活動のうち、体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施し、継続性のある活動。</p> <p>「生活活動」：身体活動のうち、日常生活における労働、家事、通勤・通学など。</p> <p>これらの関係は、身体活動＝運動＋生活活動</p>
※39	<p>市民交流施設</p> <p>「新庁舎・市民交流施設」は市役所、市民交流施設、健康福祉連携施設などからなる複合施設。「つながり」をテーマとして、地域交流の拠点や健康づくりの拠点。</p>
※33	<p>市役所ウォーキングコース</p> <p>令和3年度（2021年）に開庁した西脇市庁舎の外周に施されたウォーキングコース</p>
※71	<p>障害者スポーツ指導員</p> <p>障害者に地域でのスポーツ活動の支援をするための環境作りと、スポーツの楽しさや喜びを伝えることや障害者の適性に応じた運動競技種目及びリハビリテーションとの関連性などについて講習を行うことにより、指導者として</p>

	の技術向上を図り、障害者スポーツの振興に寄与している。
※66	<p>新型コロナウイルス</p> <p>令和元年（2019年）に人に感染する「コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症です。この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」と言う。</p>
※27	<p>人生100年時代</p> <p>人生100年時代とは、ロンドン・ビジネス・スクール教授のリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが『LIFE SHIFT（ライフ・シフト）100年時代の人生戦略』（東洋経済新報社）で提唱した言葉。</p> <p>世界で長寿化が急激に進み、先進国では2007年生まれの2人に1人が100歳を超えて生きる「人生100年時代」が到来すると予測し、これまでとは異なる新しい人生設計の必要性を説いている。日本では本の発売と同時期に小泉進次郎が使用したことで広く浸透し、日本では人生100年時代を見据えた経済社会システムを創り上げるための政策のグランドデザインを検討する会議として、平成29年（2017年）9月に人生100年時代構想会議が設置され、9回にわたって議論が行われた。</p>
※2	<p>スポーツ基本計画</p> <p>スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられるもので、10年間程度を見通した基本方針を定めるとともに、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が体系化されています。</p>
※1	<p>スポーツ基本法</p> <p>日本におけるスポーツに関する施策の基本事項を定めた法律で、スポーツ振興法を改正し、平成23年（2011年）6月24日に公布、同年8月24日に施行。</p>
※17	<p>スポーツクラブ21</p> <p>兵庫県民が21世紀に向けて、豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるために、全県下の小学校区に地域スポーツクラブを設置「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることを目指した地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブ。</p>
※75	<p>スポーツクラブ21にしわき連絡協議会</p> <p>西脇市にある8つのスポーツクラブによる連絡協議会。</p>
※74	<p>スポーツコミュニティサイト</p>

	チーム紹介や活動内容等を登録し、公開することで、一緒にスポーツを楽しむ人を探したりできるとともに、スポーツに対するコミュニケーションの場を設けることで、スポーツ活動への参加機会を増やし、スポーツとライフスタイルの活性化を目指す、インターネット上のサイト。
※46	スポーツ推進委員 当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員。
※3	スポーツ庁 スポーツ振興その他スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として設置された文部科学省の外局で平成27年（2015年）10月1日に設置。
※77	スポーツボランティアバンク 地域社会やスポーツ団体・クラブ、各種スポーツイベントなどにおいて、個人の自由意志に基づき、その技能や時間などを進んで提供し、社会に貢献する活動。
※51	スポーツレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピックがもたらす、スポーツについての社会的遺産。
※42	スマートウェルネスシティ 住み慣れた地域でいつまでも健やかで幸せに暮らせる健幸都市
※5	「する」「みる」「ささえる」スポーツ 「する」：スポーツを実際に「する人」 「みる」：トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、スポーツを「観る人」 「支える」：指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える（育てる）人」 文部科学省のスポーツ立国戦略で使用されている。
※18	成長戦略フォローアップ 国の成長戦略を議論する未来投資会議において、2020年度策定の成長戦略に基づく具体的な行動指標。

【た行】

※19	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を実現するために、2020年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を提示。
-----	--

※6	<p>第2次西脇市総合計画</p> <p>平成31年度（2019年度）を始期とした、西脇市の将来を見据えた総合的・計画的なまちづくりの指針</p>
※58	<p>体育協会表彰</p> <p>西脇市体育協会から、その年（9月1日から8月31日の期間）におけるスポーツ大会等の成績が特に顕著であると認められた市民や長年の功績に対して贈られる賞。</p>
※12	<p>地方スポーツ推進計画</p> <p>スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即して定められたスポーツの推進に関する計画でスポーツ基本法（平成23年（2011年）法律第78号）第10条で定められている。</p>
※76	<p>定住自立圏</p> <p>地方圏において、三大都市圏と並ぶ人口定住の受け皿として形成される圏域で、定住自立圏の形成にあたっては、医療や買い物など住民生活に必要な機能について一定の集積があり、周辺の市町村の住民もその機能を活用しているような都市が「中心市」となり、圏域全体において中心的な役割を担うことが想定されている。</p>
※45	<p>出前講座</p> <p>生涯学習やまちづくりやまちづくり活動を支援するため、市の職員などが出向いて税や健康づくりなどを詳しく説明する講座。</p>
※9	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック</p> <p>オリンピックは令和3年（2021年）7月23日から8月8日までの17日間、パラリンピックは令和3年（2021年）8月24日から9月5日までの13日間、東京都で開催される予定のオリンピック・パラリンピック競技大会。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を受けて、2020年夏の開催日程から1年延期となった。東京での五輪開催は、1964年以来、57年ぶりとなる。</p>

【な行】

※20	<p>内閣官房まち・ひと・しごと創生本部</p> <p>日本の内閣に設置されている組織である。平成26年（2014年）9月3日に発足した第2次安倍改造内閣の同日の閣議決定により設置され、同年11月28日にまち・ひと・しごと創生法が公布・施行したことにより、同年12月2日からは内閣に設置される法定の組織となった。同本部は、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、首都圏への人口集中（東京一極集中）を是正し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し実施。</p>
-----	---

※21	内閣府地方創生推進事務局 地方創生に関する法律・予算・制度の運用を掌る内閣府の特別の機関。
※59	西村卓二 西脇市(旧黒田庄町)出身の卓球指導者。現在、東京富士大学の教授で同大学の卓球部を指導。女子日本代表監督を平成13年(2001年)より務めて平成15年(2003年)の世界卓球選手権ドーハ大会では銅メダルを日本にもたらした。
※34	にしわきウオーキングコース 西脇市スポーツ推進委員により西脇市の8つの地区に設けられた9コースで全長は100km。歴史や観光地を巡りながら楽しめるウオーキングコース。
※14	西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」 豊かにたくましく生き、未来を開拓する多様な人材を育成するとともに、生涯活躍社会・共生社会を実現するために策定された、第3期西脇市教育振興基本計画。
※63	西脇市公共施設等総合管理計画 自治体の保有する公共施設(インフラを含む)全てを横断的にマネジメントしていくための計画
※35	西脇子午線マラソン大会 日本へそ公園をゴールとする日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される、マラソン大会。令和2年度(2020年度)には43回目を迎え(新型コロナウイルス感染拡大防止により本大会は中止し代替えにオンライン大会を実施)、毎年2000人を越すランナーが全国から集結する。
※13	西脇市生涯スポーツ振興計画 平成23年(2011年)に策定した西脇市のスポーツの推進に関する計画。
※56	西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」 平成14年度(2002年度)から毎年、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた市内の小中学生に、贈呈するスポーツ・文化大賞。
※55	西脇市スポーツ・文化賞 スポーツや文化活動において顕著な成績をおさめられた市民に贈呈するスポーツ・文化賞。
※24	西脇市スポーツ少年団 創設50年以上の歴史あるスポーツ団体で、令和3年度(2021年度)現在は6種目7団体あり180人以上が所属。
※16	西脇市体育協会 昭和28年(1953年)12月に発足。令和3年度(2021年度)現在は20競技協

	会が加盟。
※37	西脇多可新人高校駅伝競走大会 毎年2月の3週目に西脇アピカから多可町ベルディーホール折り返す日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される全国規模の高校新人駅伝で、全国から130を超えるチームが参加。
※31	ニュースポーツ 一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。例：グラウンド・ゴルフ、キンボール、スポーツチャンバラなど
※67	熱中症 高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が壊れるなどして発症する障害。
※48	のじぎく障害者スポーツ大会 令和3年（2021年）には15回目を数える兵庫県内の障害者が、スポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的として開催されるスポーツ大会。

【は行】

※15	兵庫県スポーツ推進計画 兵庫県におけるスポーツ施策の成果と課題及び国の動向も踏まえ、平成24年度（2012年度）に、次の10年間のスポーツ施策の基本的な考え方や具体的な方向性を示すために定められた計画。
※60	兵庫デルフィーノ 男子バレーボールVリーグ 2020-2021 DIVISION 2 に所属のチームで西脇市がセカンドホーム。年間2試合程度の公式戦が西脇市総合市民センター体育館で開催される。
※43	フレイル 加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態を示している。介護が必要になる前段階。
※72	ホームページ 本来はウェブブラウザを起動した時に表示されるウェブページなどの画面（ページ）。しかし、多くは企業等の紹介やPRなどを行うウェブサイト全体を指す意味に誤用されている。

※10	<p>ホストタウン</p> <p>東京2020大会に向けて、地域の活性化や観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を国が登録する制度。 事前トレーニングキャンプで来日した選手や大会に出場した選手との交流、パラリンピックを契機とした共生社会の実現などに取り組む団体が登録。</p>
※32	<p>ボッチャ</p> <p>ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。 ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。</p>

【ま行】

※22	<p>まち・ひと・しごと創生基本方針2019</p> <p>人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。</p>
※57	<p>丸山完二賞</p> <p>播但地区中学校選抜優勝野球大会の優勝チームに西脇市出身でヤクルトスワローズの選手・コーチとして活躍された丸山完二氏にちなんで丸山完二賞が贈呈される。</p>
※53	<p>モチベーション</p> <p>動機づけ：動を始発させ、目標に向かって維持・調整する過程・機能。</p>

【や行】

※30	<p>ユニバーサルスポーツ</p> <p>高齢になっても障害があっても、大人でも子どもでも、みんなが一緒に参加し、活動できるスポーツ。</p>
-----	--

【ら行】

※8	<p>ライフスタイル</p> <p>生活様式：ある社会においての成員が共通して成り立っているような生活の送り方のことを言う。 より広義には、ある個人や集団あるいは文化の興味・意見・行動、および行動指向を指す。</p>
※7	<p>ライフステージ</p> <p>人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。 家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期な</p>

	どに分けられる。
※78	<p>ワールドマスターズゲームズKANSAI 2021/JAPAN</p> <p>昭和60年（1985年）に第1回カナダ・トロント大会が開催され、令和3年（2021年）の関西大会で10回目を迎える国際大会。（新型コロナウイルス感染拡大防止により翌年に延期）</p> <p>「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」が理念。一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典。</p>

No.	用語
※1	<p>スポーツ基本法</p> <p>日本におけるスポーツに関する施策の基本事項を定めた法律で、スポーツ振興法を改正し、平成 23 年（2011 年）6 月 24 日に公布、同年 8 月 24 日に施行。</p>
※2	<p>スポーツ基本計画</p> <p>スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置付けられるもので、10 年間程度を見通した基本方針を定めるとともに、平成 24 年度から概ね 5 年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が体系化されています。</p>
※3	<p>スポーツ庁</p> <p>スポーツ振興その他スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として設置された文部科学省の外局で平成 27 年（2015 年）10 月 1 日に設置。</p>
※4	<p>一億総スポーツ社会の実現</p> <p>国の第 2 期スポーツ推進計画でスポーツを「する」「見る」「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大を目指しているもので、その結果、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創ることを目標としている。</p>
※5	<p>「する」「みる」「ささえる」スポーツ</p> <p>「する」：スポーツを実際に「する人」</p> <p>「みる」：トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、スポーツを「観る人」</p> <p>「支える」：指導者やスポーツボランティアといったスポーツを「支える（育てる）人」</p> <p>文部科学省のスポーツ立国戦略で使用されている。</p>
※6	<p>第 2 次西脇市総合計画</p> <p>平成 31 年度（2019 年度）を始期とした、西脇市の将来を見据えた総合的・計画的なまちづくりの指針</p>
※7	<p>ライフステージ</p> <p>人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階。家族については新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などに分けられる。</p>

※8	<p>ライフスタイル</p> <p>生活様式：ある社会においての成員が共通して成り立っているような生活の送り方のことを言う。より広義には、ある個人や集団あるいは文化の興味・意見・行動、および行動指向を指す。</p>
※9	<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック</p> <p>オリンピックは令和 3 年（2021 年）7 月 23 日から 8 月 8 日までの 17 日間、パラリンピックは令和 3 年（2021 年）8 月 24 日から 9 月 5 日までの 13 日間、東京都で開催される予定のオリンピック・パラリンピック競技大会。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を受けて、2020 年夏の開催日程から 1 年延期となった。東京での五輪開催は、1964 年以来、57 年ぶりとなる。</p>
※10	<p>ホストタウン</p> <p>東京 2020 大会に向けて、地域の活性化や観光振興などの観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を国が登録する制度。事前トレーニングキャンプで来日した選手や大会に出場した選手との交流、パラリンピックを契機とした共生社会の実現などに取り組む団体が登録。</p>
※11	<p>オリンピックレガシー</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック後に残る有形無形のレガシー、すなわち「社会的遺産」（ソーシャル・キャピタル）・文化的財・環境財のこと。</p>
※12	<p>地方スポーツ推進計画</p> <p>スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即して定められたスポーツの推進に関する計画でスポーツ基本法（平成 23 年（2011 年）法律第 78 号）第 10 条で定められている。</p>
※13	<p>西脇市生涯スポーツ振興計画</p> <p>平成 23 年（2011 年）に策定した西脇市のスポーツの推進に関する計画。</p>
※14	<p>西脇市教育振興基本計画「教育創造にしわきプラン」</p> <p>豊かにたくましく生き、未来を開拓する多様な人材を育成するとともに、生涯活躍社会・共生社会を実現するために策定された、第 3 期西脇市教育振興基本計画。</p>
※15	<p>兵庫県スポーツ推進計画</p> <p>兵庫県におけるスポーツ施策の成果と課題及び国の動向も踏まえ、平成 24 年度（2012 年度）に、次の 10 年間のスポーツ施策の基本的な考え方や具体的な方向性を示すために定められた計画。</p>

※16	<p>西脇市体育協会</p> <p>昭和 28 年（1953 年）12 月に発足。令和 3 年度（2021 年度）現在は 20 競技協会が加盟。</p>
※17	<p>スポーツクラブ 21</p> <p>兵庫県民が 21 世紀に向けて、豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるために、全県下の小学校区に地域スポーツクラブを設置「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることを目指した地域住民の自発的・主体的運営によるスポーツクラブ。</p>
※18	<p>成長戦略フォローアップ</p> <p>国の成長戦略を議論する未来投資会議において、2020 年度策定の成長戦略に基づく具体的な行動指標。</p>
※19	<p>第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>日本の人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を実現するために、2020 年度を初年度とする今後 5 か年の目標や施策の方向性等を提示。</p>
※20	<p>内閣官房まち・ひと・しごと創生本部</p> <p>日本の内閣に設置されている組織である。平成 26 年（2014 年）9 月 3 日に発足した第 2 次安倍改造内閣の同日の閣議決定により設置され、同年 11 月 28 日にまち・ひと・しごと創生法が公布・施行したことにより、同年 12 月 2 日からは内閣に設置される法定の組織となった。</p> <p>同本部は、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、首都圏への人口集中（東京一極集中）を是正し、地域におけるワーク・ライフ・バランスを確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し実施。</p>
※21	<p>内閣府地方創生推進事務局</p> <p>地方創生に関する法律・予算・制度の運用を掌る内閣府の特別の機関。</p>
※22	<p>まち・ひと・しごと創生基本方針 2019</p> <p>人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指す。</p>
※23	<p>健幸都市・にしわき</p> <p>少子高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域において、いつまでも健やかで幸せに暮らせることができる都市像。</p>
※24	<p>西脇市スポーツ少年団</p> <p>創設 50 年以上の歴史あるスポーツ団体で、令和 3 年度（2021 年度）現在は 6 種目 7 団体あり 180 人以上が所属。</p>

※25	<p>身体活動</p> <p>安静にしている状態より多くのエネルギーを消費するすべての動作。</p> <p>「運動」：身体活動のうち、体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施し、継続性のある活動。</p> <p>「生活活動」：身体活動のうち、日常生活における労働、家事、通勤・通学など。</p> <p>これらの関係は、身体活動＝運動＋生活活動</p>
※26	<p>共生社会</p> <p>誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会</p>
※27	<p>人生 100 年時代</p> <p>人生 100 年時代とは、ロンドン・ビジネス・スクール教授のリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが『LIFE SHIFT（ライフ・シフト）100 年時代の人生戦略』（東洋経済新報社）で提唱した言葉。世界で長寿化が急激に進み、先進国では 2007 年生まれの 2 人に 1 人が 100 歳を超えて生きる「人生 100 年時代」が到来すると予測し、これまでとは異なる新しい人生設計の必要性を説いている。日本では本の発売と同時期に小泉進次郎が使用したことで広く浸透し、日本では人生 100 年時代を見据えた経済社会システムを創り上げるための政策のグランドデザインを検討する会議として、平成 29 年（2017 年）9 月に人生 100 年時代構想会議が設置され、9 回にわたって議論が行われた。</p>
※28	<p>健康寿命</p> <p>WHO が提唱した新しい指標で、平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。</p>
※29	<p>基本理念</p> <p>組織がその根本に据える理念や目標、思想のこと。</p>
※30	<p>ユニバーサルスポーツ</p> <p>高齢になっても障害があっても、大人でも子どもでも、みんなが一緒に参加し、活動できるスポーツ。</p>
※31	<p>ニュースポーツ</p> <p>一般に、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼とした身体運動を指す。例：グラウンド・ゴルフ、キンボール、スポーツチャンバラなど</p>

※32	<p>ボッチャ</p> <p>ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目。 ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う。</p>
※33	<p>市役所ウォーキングコース</p> <p>令和3年度（2021年）に開庁した西脇市庁舎の外周に施されたウォーキングコース</p>
※34	<p>にしわきウォーキングコース</p> <p>西脇市スポーツ推進委員により西脇市の8つの地区に設けられた9コースで全長は100km。歴史や観光地を巡りながら楽しめるウォーキングコース。</p>
※35	<p>西脇子午線マラソン大会</p> <p>日本へそ公園をゴールとする日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される、マラソン大会。令和2年度（2020年度）には43回目を迎え（新型コロナウイルス感染拡大防止により本大会は中止し代替えにオンライン大会を実施）、毎年2000人を越すランナーが全国から集結する。</p>
※36	<p>経緯度周辺コース</p> <p>毎年12月2週目に開催される西脇子午線マラソン大会のコースで、西脇市日本へそ公園周辺の日本陸連公認ハーフマラソンコース。</p>
※37	<p>西脇多可新人高校駅伝競走大会</p> <p>毎年2月の3週目に西脇アピカから多可町ベルディーホール折り返す日本陸連公認ハーフマラソンコースで開催される全国規模の高校新人駅伝で、全国から130を超えるチームが参加。</p>
※38	<p>北はりま田園ハーフマラソンコース</p> <p>毎年2月3週目に開催される西脇多可新人高校駅伝競走大会のコースで、西脇アピカから多可町ベルディーホールを往復する日本陸連公認ハーフマラソンコース。</p>
※39	<p>市民交流施設</p> <p>「新庁舎・市民交流施設」は市役所、市民交流施設、健康福祉連携施設などからなる複合施設。「つながり」をテーマとして、地域交流の拠点や健康づくりの拠点。</p>
※40	<p>うごくスタジオ</p> <p>市民交流施設にある健康教室など体を動かすことを目的に貸し出される諸室。</p>

※41	健幸運動教室Ni-Co フレイルや生活習慣病を予防するため、科学的根拠に基づいた運動プログラムを活用した運動教室
※42	スマートウエルネスシティ 住み慣れた地域でいつまでも健やかで幸せに暮らせる健幸都市
※43	フレイル 加齢に伴い身体の予備能力が低下し、健康障害を起こしやすくなった状態を示している。介護が必要になる前段階。
※44	おりひめ体操 西脇市が医師や歯科医師をはじめ、多くの専門家の方たちと一緒に考案した、足や腰の筋力アップと、お口の健康を保つための体操
※45	出前講座 生涯学習やまちづくりやまちづくり活動を支援するため、市の職員などが出向いて税や健康づくりなどを詳しく説明する講座。
※46	スポーツ推進委員 当該市町村のスポーツ推進のために、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対する、スポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員。
※47	(公財) 兵庫県障害者スポーツ協会 障害者のスポーツ活動を通じた健康の維持増進と、明るく強固な自立の精神を養うことを支援し、障害者の社会参加の促進と福祉の増進に寄与することを目的として、兵庫の障害者スポーツの推進に取り組んでいる。
※48	のじぎく障害者スポーツ大会 令和3年(2021年)には15回目を数える兵庫県内の障害者が、スポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的として開催されるスポーツ大会。
※49	いきいき体力づくり 市内小学5年生から中学3年生までで実施している全8種目の運動能力調査
※50	外部指導者 中学校・高等学校の部活動において、顧問の教諭と連携・協力しながら部活動のコーチ等として技術的な指導を行う。
※51	スポーツレガシー 東京2020オリンピック・パラリンピックがもたらす、スポーツについての社会的遺産。

※52	<p>健康卓球</p> <p>一般社団法人 卓球で日本を元気にする会が提案する、卓球の楽しみ方で老年医学・整形外科の専門家や、卓球選手と協働し、高齢者や身体に障害のある人にも有効な卓球のプレー方法として提案している。</p>
※53	<p>モチベーション</p> <p>動機づけ：動を始発させ、目標に向かって維持・調整する過程・機能。</p>
※54	<p>(公財) 西脇市文化・スポーツ振興財団</p> <p>市民一人ひとりが、より豊かな生活をおくり、活力ある地域社会を築いていくために、優れたスポーツや芸術文化との新鮮な出会いを提供し、西脇市が進める「市民と協働のまちづくり」に寄与している。</p>
※55	<p>西脇市スポーツ・文化賞</p> <p>スポーツや文化活動において顕著な成績をおさめられた市民に贈呈するスポーツ・文化賞。</p>
※56	<p>西脇市少年スポーツ・文化大賞「絆賞」</p> <p>平成14年度(2002年度)から毎年、スポーツや文化などの分野で優秀な成績を収めた市内の小中学生に、贈呈するスポーツ・文化大賞。</p>
※57	<p>丸山完二賞</p> <p>播但地区中学校選抜優勝野球大会の優勝チームに西脇市出身でヤクルトスワローズの選手・コーチとして活躍された丸山完二氏にちなんだ丸山完二賞が贈呈される。</p>
※58	<p>体育協会表彰</p> <p>西脇市体育協会から、その年(9月1日から8月31日の期間)におけるスポーツ大会等の成績が特に顕著であると認められた市民や長年の功績に対して贈られる賞。</p>
※59	<p>西村卓二</p> <p>西脇市(旧黒田庄町)出身の卓球指導者。現在、東京富士大学の教授で同大学の卓球部を指導。女子日本代表監督を平成13年(2001年)より務めて平成15年(2003年)の世界卓球選手権ドーハ大会では銅メダルを日本にもたらしした。</p>
※60	<p>兵庫デルフィーノ</p> <p>男子バレーボールVリーグ 2020-2021 DIVISION 2に所属チームで西脇市がセカンドホーム。年間2試合程度の公式戦が西脇市総合市民センター体育館で開催される。</p>
※61	<p>さわかみ関西独立リーグ</p> <p>近畿地方を中心に活動するプロ野球独立リーグ。</p>

※62	<p>神戸三田ブレイバース</p> <p>日本のプロ野球独立リーグの球団で、本拠地は兵庫県三田市。2020年までの名称は兵庫ブルーサンダーズでプロ野球独立リーグ・旧関西独立リーグに2011年より参入。2013年シーズン終了後に関西独立リーグを脱退し、2014年からは06BULLSとともに設立したさわかみ関西独立リーグに加盟している。</p>
※63	<p>西脇市公共施設等総合管理計画</p> <p>自治体の保有する公共施設（インフラを含む）全てを横断的にマネジメントしていくための計画</p>
※64	<p>個別施設計画</p> <p>インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するため策定された「インフラ長寿命化基本計画」等に基づき、各地方公共団体等が策定する計画。各施設に必要な機能を維持するため中長期にわたる整備の内容や時期、費用等を具体的に表した計画で、限られた財源の中で施設を長寿命化しながら維持管理・更新コストの縮減・平準化を図るなど、戦略的に施設整備を進めるもの。</p>
※65	<p>A E D</p> <p>自動体外式除細動器のこと。心室細動を起こした人に電気ショックを与えることで、正常なリズムに戻すための医療機器。</p>
※66	<p>新型コロナウイルス</p> <p>令和元年（2019年）に人に感染する「新型コロナウイルス」として新たに見つかった「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」による感染症です。この感染症を「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」と言う。</p>
※67	<p>熱中症</p> <p>高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が壊れるなどして発症する障害。</p>
※68	<p>救急ナイトスクール</p> <p>平成12年（2000年）から医師会等からなる実行委員会が開催している、心肺蘇生法やA E D（自動体外式除細動器）の使用方法を学ぶ講習会</p>
※69	<p>キーパーソン</p> <p>何かを決定して行動する時、意思決定などに強い影響力を持つ人物</p>

※70	<p>(公社) 全国スポーツ推進委員連合</p> <p>体育指導委員の全国組織として、昭和 35 年 (1960 年) に、全国体育指導委員協議会が結成。昭和 50 年 (1975 年) 9 月 27 日に、社団法人の許可を受けた全国体育指導委員連合を設立。その後、平成 23 年 (2011 年) 8 月の「スポーツ基本法」施行による体育指導員から「スポーツ推進委員」への名称変更とともに、公益法人改革に伴う「公益社団法人」への移行により、平成 24 年 (2012 年) 4 月 1 日、「公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合」として設立。</p>
※71	<p>障害者スポーツ指導員</p> <p>障害者に地域でのスポーツ活動の支援をするための環境作りと、スポーツの楽しさや喜びを伝えることや障害者の適性に応じた運動競技種目及びリハビリテーションとの関連性などについて講習を行うことにより、指導者としての技術向上を図り、障害者スポーツの振興に寄与している。</p>
※72	<p>ホームページ</p> <p>本来はウェブブラウザを起動した時に表示されるウェブページなどの画面 (ページ)。しかし、多くは企業等の紹介や PR などを行うウェブサイト全体を指す意味に誤用されている。</p>
※73	<p>WEB</p> <p>「ワールドワイドウェブ」の略。インターネット上に分散したハイパーテキスト形式の情報を検索するシステム</p>
※74	<p>スポーツコミュニティサイト</p> <p>チーム紹介や活動内容等を登録し、公開することで、一緒にスポーツを楽しめる人を探したりできるとともに、スポーツに対するコミュニケーションの場を設けることで、スポーツ活動への参加機会を増やし、スポーツとライフスタイルの活性化を目指す、インターネット上のサイト。</p>
※75	<p>スポーツクラブ 21 にしわき連絡協議会</p> <p>西脇市にある 8 つのスポーツクラブによる連絡協議会。</p>
※76	<p>定住自立圏</p> <p>地方圏において、三大都市圏と並ぶ人口定住の受け皿として形成される圏域で、定住自立圏の形成にあたっては、医療や買い物など住民生活に必要な機能について一定の集積があり、周辺の市町村の住民もその機能を活用しているような都市が「中心市」となり、圏域全体において中心的な役割を担うことが想定されている。</p>
※77	<p>スポーツボランティアバンク</p> <p>地域社会やスポーツ団体・クラブ、各種スポーツイベントなどにおいて、個人の自由意志に基づき、その技能や時間などを進んで提供し、社会に貢献する活動。</p>

※78	<p>ワールドマスタースゲームズKANSAI 2021/JAPAN</p> <p>昭和 60 年（1985 年）に第 1 回カナダ・トロント大会が開催され、令和 3 年（2021 年）の関西大会で 10 回目を迎える国際大会。（新型コロナウイルス感染拡大防止により翌年に延期）</p> <p>「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」が理念。一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢をおくる生涯スポーツの祭典。</p>
-----	--